

宇城市 議会だより

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

70号

2022年 8 月



【これもスポーツ!? eFootball
チャンピオンシップ in UKI】

**TEAM
C.UKI**
コロナに負けない。
さあ、これからだ。



発行・編集／宇城市議会

TEL 0964-32-1111(代表) FAX 0964-34-3557

CONTENTS

令和4年第2回定例会の概要	2
常任委員会審査報告	3
一般質問	6
令和4年第2回臨時会の概要	13

令和4年第2回定例会の概要

《会期：令和4年6月10日～6月24日(15日間)》

◎審議した議案等とその結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	審議結果	賛成	反対
件名	坂元大介	四海公貴	村上真由子	河野真理	吉良邦夫	田中美君	嘉古田茂己	原田祐作	永木誠	山森悦嗣	三角隆史	坂下勲	高橋佳大	高本敬義	溝見友一	園田幸雄	福田良二	河野正明	入江学	豊田紀代美	中山弘幸	石川洋一			
承認第3号 専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決第4号）	○	○	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	承認	20	0
議案第51号 令和4年度宇城市一般会計補正予算（第1号）	棄	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	棄		○	○	○	○	○	棄	○	原案可決	17	0
議案第52号 令和4年度宇城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決	21	0
議案第53号 令和4年度宇城市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決には加わりません。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	21	0
議案第54号 令和4年度宇城市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決	21	0
議案第55号 宇城市社会福祉法人に対する助成の手續を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決	21	0
議案第56号 宇城市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	棄	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	○	●	○	原案可決	17	3
議案第57号 財産の無償貸付けについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄		○	○	○	○	○	○	○	可決	20	0
議案第58号 財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	21	0
議案第59号 熊本市町村総合事務組合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決	21	0
議案第60号 令和4年度宇城市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	原案可決	21	0

◎その他の議案

番 号	件 名	審議結果
報告第4号	令和3年度宇城市一般会計継続費繰越計算書の報告について	報 告
報告第5号	令和3年度宇城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報 告

番 号	件 名	審議結果
報告第6号	令和3年度宇城市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	報 告
報告第7号	令和3年度宇城市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
報告第8号	令和3年度宇城市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報 告
報告第9号	令和3年度宇城市土地開発公社の経営状況の報告について	報 告
承認第3号	専決処分の報告及び承認を求めることについて（専決第4号） （令和4年度宇城市一般会計補正予算（専決第1号））	承 認
同意第4号	固定資産評価員の選任について（黒崎達也氏）	同 意
同意第5号	監査委員の選任について（入江學氏）	同 意
同意第6号	監査委員の選任について（高岡実氏）	同 意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（村岡純子氏）	「適任」と認め答申 することに決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（橋本恵子氏）	「適任」と認め答申 することに決定

委員長 三角 隆史

●一般会計補正予算（第1号）
○eスポーツ普及事業

「本庁改修完成後に市長政策部が小川支所から退去した後、そのスペースを改修して行うeスポーツ普及事業の目的と内容は何か」との質疑に対し「eスポーツは2019年から国体でも開催され、サッカーや野球、パズルなどのいわゆるゲームである。事業の目的は、ゲームをすることだけではなく、認知症予防や多世代または障がい者との交流も目的としている」との答弁があった。また、「普及方法や方向性はどのようなものか」との質疑に対し「eスポーツを軸としているが、同時に企業と連携してスマホ教室を開催

常任委員会 審査報告

総務文教常任委員会

するなど、デジタルに弱いと言われている人を支援し、ITリテラシーの向上を目指す」との答弁があった。

○公開型地理情報システムの構築

「システムの内容はどのようなものか。また、これは市民にとって重要なものなのか」との質疑に対し「現在、市役所では水道、下水道、航空写真、地番図の4つの地理情報システムをそれぞれの所管課が契約・利用しているが、今後はそれを一本化し、公開できる地理情報システムを構築する。これにより、例えば、現在家を建てる前に水道管がどこまで来ているかの確認で、市役所に来庁していたく必要があるが、システム導入後は自分のスマホ等で確認できるようになる。市民は来庁の手間が省け、一本化により経費の削減も図られる」との答弁があった。これに対し「システムを作るだけではなく、市民への

サポートも含めて分かりやすく誰もが活用できる運用を検討してほしい」との意見があった。

○松橋総合体育文化センターの大規模改修工事

「直流電源装置の取換えやLED照明の改修などが追加される補正であるが、これらの工事の必要性は改修前に調査して分かっているはずである。設計段階で問題があったのではないから、今回の増額補正は当初予算で要求すべきだったのではないか」との質疑に対し「LED照明の改修はたしかに当初で要求すべきだったと思う。しかし、直流電源装置等は老朽化しているものの、当初は取替等は不要と考えていた。工事が進む中で不良箇所が徐々に判明し、有事の際に故障するリスクが高まり、利用者に危険が及ぶと考えたため、今回補正を計上した」との答弁があった。

●財産の無償貸付けについて



旧豊野公民館



旧豊野学校給食センター

「旧豊野公民館と旧豊野学校給食センターをバレーボールVリーグ所属のフォレストリーグ熊本に10年間無償で貸し付けるとのことだが、敷地内の管理や建物の修繕作業はどちらが行うのか。また、10年たたずに退去するとの申出があった場合の対応はどうなるのか」との質疑に対し「除草作業など周辺の

管理は相手方に対応願う。雨漏りなどの修繕作業も軽微なものは相手方が行うものとし、大規模なものは協議の上、実施する予定である。貸付期間満了前の退去についても原状回復が原則であるが、いずれも議会の議決後、契約を締結する際に詳細を協議して決定する」との答弁があった。また、「建物は建築から30年または40年を超えているが、耐震基準などの安全性の担保はできているのか」との質疑に対し「耐震基準は満たしている」との答弁があった。

建設経済常任委員会

委員長 坂下 勲

●一般会計補正予算(第1号)

○農業振興費

「新規就農育成総合対策事業補助金を増額計上してあるが、新規就農者はどれくらいいるのか」との質疑に対し「毎年数名の就農者があり、今年度は5人を予定している」との答弁が

あった。

○熊本地震復興基金事業費

応急仮設住宅を解体し、資材を再利用して、豊野町誉ヶ丘公園内にバンガローとして再建築する際の上下水道管の布設等の増額補正について「バンガロー建設の予算はいつ可決したのか」との質疑に対し「令和3年度からの繰越事業で、令和3年6月議会の補正予算で計上したものである」との答弁があった。また、「地域からの要望があったのか。また、建設するにあたり規制はないのか」との質疑に対し「山森議員からの一般質問に対し、市長からバンガローを建設する旨の答弁があった。なお、行政区長会議の中で説明等を行い事業を進めている。建設規制については、当該地は県の保健保安林及び水源涵養保安林と指定されているが、県に確認したところ、建設可能との回答をもらっている」との答弁があった。

●水道事業給水条例の一部改正

「水道料金改定により1㎡当たり税込み39円引き上げられるとのことだが、原因は何か」との質疑に対し「企業団の受水単価値上げのほか、国からの高料金対策繰入金が増えたことが大きい。また、全国的な水道事業の問題として施設の更新費用があり、これらを賄うため、本市でも最低限の条件として、1㎡当たり税込み39円の増額を達成しなければ今後の負担が大きくなる」との答弁があった。反対討論として、「水道料金の値上げは市が掲げる定住促進の点でも影響が出る。本市の水道料金が高いイメージを払拭するためにも、一般財源を繰入れるなど、まだ議論の余地があると考える」との討論があった。

民生常任委員会

委員長 豊田 紀代美

●一般会計補正予算(第1号)

○新宇城クリーンセンターの建設

「一般的に物価高騰している中で、建設費用への影響は予測しているか」との質疑に対し「現在、宇城広域連合から設計変更などの話がないため、物価高騰による増額分があるかは不明である」との答弁があった。

○子どもセンターの整備

「子どもセンターの工事時期や職員配置はどうなっているのか」との質疑に対し「本庁舎の大規模改修が完了予定の11月以降に改修工事の着工を見込んでいる。職員については、現在のところ、児童福祉相談員、保育園の民営化に伴う保育士の職種変更希望者、保健福祉センターから母子担当の配置を考えているが、人事案件であるため、人数や所属など今後総務部との協議が必要」との答弁があった。

○公用車の購入

「公用車を1台購入することだが、使用目的は何か」との質疑に対し「母子保健業務等での訪問事業や施設への同行、また、児童虐待の通報があった場合など、迅速な対応を行うために購入する」との答弁があった。

●宇城市社会福祉法人に対する助成の手続を定める条例の一部を改正する条例の制定

「現行の条例を整備する必要性はあるのか」との質疑に対し「社会福祉法により社会福祉法人への助成を行う場合は、その手続きについては必要により条例で定めることとされている。本条例では社会福祉法人を『社会福祉協議会』と限定しているため、本市が所轄する全ての社会福祉法人全体に適用されるように、社会福祉協議会という文言を削除するものである」との答弁があった。

熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会が設置されました

◎石川 洋一	○永木 誠	中山 弘幸	河野 正明
福田 良二	坂下 勲	三角 隆史	嘉古田 茂己

◎印は委員長、○印は副委員長

一般質問

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

豊田 紀代美 議員

宇城市民病院について

問 慢性的な医師不足や経営状況の悪化を踏まえ、病院譲渡に至ったと聞く。進捗状況と課題について問う。

市長政策部長 宇城総合病院、国立病院機構熊本南病院、済生会三角病院の3院に事業譲渡の打診を行った。しかし、宇城市民病院の急性期病床の譲渡は国の承認が必要で、かなり難しい。外来機能のみでは病院経営の利益が大きく見込めず、厳しい状況が伺える。

問 宇城総合病院からの受入れについて、市長の考えを問う。

市長 不安定な経営が予想される中、社会医療法人黎明会に引

き受けていただくことは大変ありがたい。在り方検討委員会の答申を最大限尊重できるように、当該法人としっかり話し合いを進めていく。

問 医師、看護師、医療技術者等の今後の処遇について問う。

総務部長 職員の希望に添えるよう、資格を活かせる部署及び業務内容の情報提供や説明会を行い、理解を深めているところである。職場見学の希望にも対応し、今後も職員個々に面談等を行いながら進めていく。

問 閉院後の地域医療体制について問う。

病院事務長 令和5年3月に市民病院を閉院し、翌4月に新・診療所を開設する予定。途切れることなく地域住民に医療が提供できるよう努める。

市長 市民病院を廃止し、社会医療法人黎明会が現在地での診療機能を引き継ぐことについて、利用者や地域の不安を払拭するためにも早い段階で説明会を開きたいと考えている。

美術館への絵の寄贈について

問 宇城市出身の画家、塔本シスコさんは、亡くなる91歳まで絵筆を置く間もなく制作に没頭され、その絵からは圧倒的な色彩と湧き上がるふるさと宇城市松橋町への強い思いが感じられる。今回、孫の福迫弥麻（ふくさこみあ）さん所有の絵を無償で寄贈していただけるとの話がある。作品があれば、企画展や収蔵庫展を開催することで交流人口の増になる。また、本市所有収蔵庫作品として全国に貸し出すこともできる。美術館の指定管理者とのコラボを強く要望するとともに、ほぼ満杯状態の収蔵庫の改修について市の考えを問う。

教育長 塔本シスコさんの作品は非常にダイナミックで、鮮やかな色彩と大胆な構図の中に自由が表現されていてすばらしい。子どもたちにとっても、平常から本物に触れて感受性豊かに育

つことはとても大切なことだ。

市長 塔本シスコさんの作品はすばらしいもので、今後ますます評価が高まっていくと思う。収蔵庫の容量不足については、今後100年間しっかりと宇城市の財産を保全するためにも手を抜けないところであり、費用も掛かる。まずは現在の収蔵庫内を整理し、収納スペースを確保するなどして、今後必要ならば収蔵庫の拡張も考える。

問 将来を見据えると、その投資は無駄にはならないと思う。何とか収蔵庫の改修をしていた



宇城市立の小学校13校に「塔本シスコ画集」を寄贈された孫の福迫弥麻さんと夫の英司さん

物価高騰等に対する地方創生臨時交付金の取扱いについて

問 新型コロナウイルス感染症の長期化及び本年2月末以降のウクライナ危機により原材料価格が値上がりしている。4月には政府が輸入小麦の売渡価格を17・3%値上げしたところでもある。食材費の値上がりが一層懸念される中で本市の学校給食の現状について問う。

教育部長 市内の小中学校で提供している学校給食は、共同調理場である宇城市学校給食センター管轄の松橋・豊野の小中学校9校と、単独調理場である三角・小川の小中学校8校で各々運営している状況である。昨今の物価高騰等により給食の食材調達にも影響が生じていることから、単独調理場である中学校1校及び小学校1校が、今年度から値上げをしている。給食現場に従事する栄養教諭や調理員

等は、食材やメニューの見直しなどの工夫により、児童生徒の栄養バランスと給食費の収支との両立を維持した学校給食の提供に努力している。

問 食材費と予算のバランス等を含めた今後の見通しについて問う。

教育部長 現在のところ、給食従事者の日々の努力によって何とか現在の給食費で賄えている状況だが、調査機関の予測や情報機関による連日の報道等では、今後も食材費の高騰が続くことが確実視されており、今後の給食運営は大変困難となることを予想している。

問 本年4月に内閣府から発出された文書の中に、物価高騰等に伴う学校給食等に関する負担軽減の項目が追加された。物価高騰による給食費値上げを抑えるため、地方創生臨時交付金を活用することができるといふものである。本市も活用すべきと考えるが、市の考えを問う。

教育部長 給食費の追加徴収等

を実施しなくても十分に学校給食を運営していくことができるよう交付金を活用し、給食食材の価格高騰に対して子育て世帯の負担軽減につながるよう取り組んでいく。



市長 新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金の一部をもつて、給食食材の価格高騰にしっかり対応する。

子育て支援について

問 県内のこども医療費無償化の実施状況について問う。

保健衛生部長 令和4年4月1

日現在の県内のこども医療費助成の実施状況で、18歳まで無償化しているのは八代市や上天草市など6市と、嘉島町、甲佐町など28町村で合計34市町村。近隣市町村では、美里町が18歳までの無償化をしている。なお、あさぎり町が令和4年9月診療分から、益城町は10月診療分から18歳まで拡大予定。これにより、県内45市町村のうち36市町村が18歳まで無償化となる。残り9市町は15歳までを助成の対象としており、このうち熊本市、宇土市、本市については一部自己負担を求めている。

問 本市も、こども医療費無償化の対象を18歳まで拡充する考えはないかを問う。

市長 令和5年4月1日診療分から、こども医療費の対象年齢を18歳に引き上げる。ただし、一部負担については現行どおりお願いしたい。

学校給食について

問 現状を問う。

教育部長 1日当たりの供給量は、令和4年5月1日時点、三角・小川地区の各単独調理場で小学校1118食、中学校556食、計1674食。学校給食センターでは、小学校2260食、中学校1155食、計3415食を供給している。献立の作成は、学校給食法に基づく学校給食実施基準が示す児童または生徒一人1回当たりの学校給食摂取基準に基づき作成。使用する食材は、登録されている物資納入業者へ、できる限り地元産食材での納入をお願いしている。毎月19日の食育の日を「ふるさとくまさんデー」と銘打ち、地元の旬の食材を使用した献立を設けることで、地元の食材を児童生徒に身近に感じてもらえるような取組等を実施している。

給食費の年間徴収額は各調理場単位で設定されており、給食センターと単独調理場で金額が多少異なっている。単価は注文する納入業者の違いや注文する時期によって食材価格は変動するため、各単独調理場でも食材費に違いがある。センターでは、小学校一人1日当たり240円、中学校では一人1日当たり270円で賄っている。給食費の公会計化については、学校現場の負担軽減や働き方改革等の目的により、国や県でも導入に向けた指針が示されており、本市としても導入を検討している。

問 学校給食のアレルギー対応について問う。

教育部長 宇城市学校給食食物アレルギー対応食提供実施要領に基づき、市内全小中学校において、卵や乳、甲殻類等、全8品目の食材について対象食材を除去する対応をとっている。小学校では児童生徒数3030人に対して52人(1.7%)、中学校では生徒数1548人に対

して22人(1.4%)である。全体で4588人に対して74人(1.6%)へアレルギー対応食を提供している。

問 センター方式への移行時期について問う。

教育部長 単独調理場については、宇城市公共施設等総合管理計画及び宇城市学校施設等長寿命化計画において、施設の改修時期や厨房機器の更新時期に学校給食センターへの移行を検討するよう明記している。ほとんどの単独調理場では老朽化が行っており、厨房機器も最新の衛生基準を満たしていない現状であるが、学校給食センターへの移行時期は未定である。単独調理場の小川中学校は、校舎完成予定の令和5年8月に供用開始とともに学校給食センターへ移行する。

問 学校給食の無償化について問う。

教育部長 過去の質問でも答弁したとおり、現時点においても新たに財源となるものを模索し

ながら、ふるさと応援寄附金と併せて恒久的・継続的な財源を確保できるよう、関係部局と検討を重ねている。

問 市長の公約実現を応援したい。どのような条件整備が必要かを問う。

市長 恒久的・継続的な財源を確保できるよう、関係部局と検討を重ねている。



本市の世界文化遺産「三角西港」から着想を得た給食メニュー「石炭ザクザク豆ごはん」を食べて市の魅力を再発見！

宇城市議会議員選挙について

問 今回実施された市議選は無投票だった。なり手不足に対しては、議会に対する理解と信頼がないなどの指摘がある一方、多様な方が参画しやすい環境づくりの場が必要だとも言われている。しかし、環境づくりだけではなく他にも数々の要因があるのも事実。市の人口が減少する中で、本市の議員定数は妥当だったのか。本市の状況と県内14市の状況を問う。

総務部長 本市の議員定数は、平成17年の合併当時は77人であった。その後、平成18年4月は定数30人に対して立候補者は49人で投票率84・04%。平成18年12月に定数が26人となり、平成22年4月の市議選の立候補者は31人で投票率78・1%。平成25年3月に定数が22人となり、平成26年4月の市議選の立候補

者は24人で投票率67・83%。平成30年4月の市議選の立候補者は24人で投票率63・48%だった。定数は22人で現在に至っている。

県内の議員定数状況は、熊本市48人、八代市28人、天草市26人、玉名市22人、合志市19人、荒尾市18人、山鹿市20人、菊池市20人、宇土市18人、人吉市18人、上天草市16人、阿蘇市20人、水俣市16人である。

問 平成26年から今回までの8年間、定数の議論はなかったが、今回の結果を重く受け止め、定数削減や公費負担選挙制度の導入など様々な角度から議論して議会の活性化に努めなければならぬ。地域の未来を決める選挙に、自治体の担い手である私たちが率先して知恵を出し合い、解決に努めるのが課題だと思う。

特定外来生物アライグマについて

問 熊日新聞によると、2021年度の個体確認数は85件に上り、2年前から倍増。このまま

増加すれば、農作物や生態系に深刻な被害をもたらすおそれがあると報道されている。本市の状況を問う。

経済部長 本市では、平成28年2月に松橋町竹崎で確認され、平成29年に松橋町曲野で捕獲、三角町大田尾で事故死体の確認、令和2年に豊野町糸石で捕獲されている。昨年度、自動撮影カメラを設置して広域的な生活痕跡調査を8か月間行なった。不知火町高良と三角町波多の2か所でアライグマが5回撮影されたため、その周辺に箱わなを設置しているが、現在まで捕獲には至っていない。広報紙に目撃情報を求める記事を掲載し、幅広く情報収集に努めているが、今のところ何ら寄せられていない状況である。なお、自動撮影カメラによる調査は本年度も引き続き行い、実態の把握に努める。

宇城市健康マラソン大会の開催について

問 コロナ禍によりいろいろな

大会が中止となっているが、少しずつ各種イベントが開催の方向に戻りつつある。今まで継続していた大会の再開に加えて、市内外に呼び掛けて招待選手なども交えた宇城市健康マラソン大会の実施計画について問う。

教育部長 マラソン大会や駅伝大会は、令和2年度から全てコロナの影響で中止としているが、現段階では各種大会を開催の方向で考えている。各地域での大会に加えて、今年度はスポーツ協会主催による本市全域を対象とした宇城市民駅伝大会を三角町戸馳地区で計画している。今年度はまず、初開催となるこの大会を成功させることを目標とする。市外または県外から参加者を呼ぶレベルの大会となれば、警察等による交通規制、安全管理、商工関係など様々な分野の協力が必要なので、マラソン大会の開催については、市民駅伝が定着した後に検討する。

障害福祉サービスについて

問 障害福祉サービスの支給決定の基準について問う。

福祉部長 宇城市障がい者及び障がい児の障害福祉サービスに関する支給基準を定める要綱に基づき6段階でサービス支給量を定めており、区分の数字が大きいほど支援の度合いが高い。

問 障がい児を介護する家族の負担軽減策について問う。

福祉部長 介護する家族の身体的・精神的な負担軽減策として、ショートステイの活用がある。

また、経済的負担軽減策として、20歳未満で精神又は身体に障害を有する児童を家庭で監護、養育している父母等に特別児童扶養手当が支給される。さらに、重度の障害により日常生活で常時介護が必要な在宅の20歳未満の本人には障害児福祉手当が支給される。本市では地域相談員として身体障がい者に対する相

談員を旧町ごとに1人ずつ、知的障がい者に対する相談員を1人委嘱しており、介護する方への精神的ケアを実施している。

問 相談窓口について問う。

福祉部長 宇城圏域では、宇土市のうきうき地域生活支援センター、美里町の相談支援センターゆきぞの、本市松橋町の相談支援センターこすもすの3事業所に相談業務を委託している。

問 障がい者、障がい児への支援体制、また総合的な支援について、市長の見解を問う。

市長 障がい者や障がい児の保護者に対して個々のニーズに対応したサービスの提供が行き渡るよう、医療や保健、教育、福祉などの関係機関が連携し、効果的な支援を身近な場所で行える体制づくりに今後も努める。

地域振興について

問 令和4年第1回定例会で宇城市企業振興促進条例の一部を改正する条例が可決したが、ど

のような企業の誘致を念頭に置いているのかを問う。

市長政策部長 TSMC進出に伴う半導体関連産業の活性化を捉え、部品メーカーや装置メーカーの誘致を進めたい。また、本市が高速道路の2つのインターチェンジを有し、県南・天草方面、鹿児島県、宮崎県に至る交通の要衝であることを活かし、物流施設の誘致を進める。

水道料金の改定について

問 改定後の料金体系はどうなるのかを問う。

上下水道局長 1世帯当たりの1か月間の平均使用量20㎡の水を使用したと仮定した場合、これまででは、三角上水道が5310円、豊野町西部地区簡易水道が4740円、松橋・小川上水道が4570円だった。改定後は、豊野町西部地区簡易水道が5520円、松橋・小川上水道が5350円、三角上水道が5310円となる。

スポーツ振興について

問 熊本ヴォルターズ誘致に向けての進捗状況とフォレストリーグ熊本の現状、地域との交流状況、今後の予定等について問う。

市長 熊本ヴォルターズは、新B1条件の一つである収容人数5千人以上のアリーナ建設を指している。本市はJR松橋駅西側を候補地として表明しており、現在、熊本ヴォルターズ側で検討している段階である。

教育部長 フォレストリーグ熊本は現在、毎週末に旧豊野小体育館を利用して練習中で、5月には高校生を対象とした強化合宿を行い、今後も大規模な合宿を計画している。各方面から支援することにより、お互いの発展につながるよう連携を取っていききたい。なお、旧豊野公民館と旧豊野給食センターをクラブハウスやトレーニング室として活用できるよう、無償貸付を行う予定である。

不知火温泉センターについて

問 今後の計画について問う。

経済部長 今年度は解体費用を算出し、新たに温泉施設を建設した場合と大規模改修による場合を比較検討する。併せて、コロナ禍や燃油高騰の推移などの環境、費用対効果、ランニングコストの検討、様々な御意見を拝聴することなどにより、多角的に考え、方向性を提言・協議する。

問 今後温泉を整備する場合、昨今の温泉に対するニーズの変化、また観光に対する趣向の変化などを考慮し、中途半端な施設は整備するべきではないと考える。やり方次第では、観光施設として物産館やレストランとの相乗効果も期待できる。更に、市民の福祉、健康増進の場所として活用できれば、多少の赤字は許容範囲と考えられる。市長の考えを問う。

市長 温泉施設の必要性及び在り方も含めて調査する。

戸馳保育園について

問 民営化に向けて、移管先法人をこれまで2回募集して応募がなかったことは理解するが、だからといって閉園は少し気が早いと思う。もっと条件を見直して受入法人を探す努力をしてもいいのではないか。

福祉部長 2回目の公募では、戸馳保育園保護者と再協議を行い、本来は有償貸付けとなる敷地を無償とし、現在の施設も譲渡から無償貸与とするなどして再応募をした。できる限りの条件緩和を試みたが、応募がなかったのが実情である。

問 戸馳から保育園がなくなれば、子育て世代にとっては間違いないが、余りにも影響が大きいと思う。また、戸馳学童クラブにも影響が出る可能性があると思うが、市の見解を問う。

福祉部長 現状、戸馳地区内の保育対象児童の約半数近くが戸馳地区外の保育所に通っており、併せて施設の老朽化等による保育環境も悪化してきていることから閉園の判断を行った。戸馳保育園が閉園すれば、戸馳学童クラブに登録する児童数の減少も考えられるが、今後の状況を注視していく必要がある。

給食費の無償化について

問 これまで低所得者世帯やひとり親世帯には様々な支援がされている。しかし、それ以外の世帯が必ずしも余裕があるわけではない。そこで、現在の物価高騰を受け、保護者の負担軽減の観点から、時限的な措置としての給食費の無償化をする考えはないかを問う。

市長 恒久的・継続的な財源を確保できるよう関係部局と検討を重ねている。簡単に、無償化を臨時的にということはできない。計画的に進めたい。

問 給食費の無償化は、昨年の

市長選挙の最大の公約だった。これまでの答弁では、市長は給食費の無償化はしたくないのではないかと思いたくなる。ふると、最初から分かっていたことだが、考えを問う。

市長 公約どおり、給食費の無償化を頑張っていく。

問 これまで執行部は新しい財源、恒久的・継続的な財源を検討していると繰り返し答弁してきたが、具体的にどのような財源をイメージしているか。

総務部長 いろいろな財源がある。それを検討している途中であり、現在、何が使えるということとを明言することはできない。市長の任期はあと2年半残されている。公約違反とは言わないが、そのような声は多く聞かれる。先の市長選挙では給食費の無償化は有権者にとって大きな選択肢だった。その期待を裏切ってはいけないと思うので、市長の英断に期待している。

生理の貧困について

問 コロナ禍で家計が厳しい中、本市でも生理の貧困に悩む方は相当数と推測される。無償配布されている生理用品の配布場所について問う。

保健衛生部長 配布場所については、市民の利便性などを考慮した上で、宇城市保健福祉センター及び三角支所の2か所で配布している。

問 最近では、生理用品を学校などの教育現場、また市役所等の公共施設のトイレに備品化して置くという動きが出てきている。生活困窮などの理由で困っている児童生徒のため、生理用品のトイレへの設置について問う。

教育部長 現在、生理用品は熊本地震関連の支援物資として配布されたものが学校に保管されている。児童生徒は、忘れたり

急に必要になったりした場合、保健室に必要な数を取りに行き、養護教諭などが渡している。トイレに生理用品を置くことは、衛生面、管理面、設置場所等に課題があるとともに、全ての女子児童生徒が対象となるので、現状では厳しいと考える。

問 保健室に保管されている生理用品の補充の頻度を問う。

教育部長 それぞれの学校により異なる。週に3、4人の児童生徒が生理用品を利用する学校もあれば、月に2、3人程度利用する学校、あるいは月に1人利用するかしないかといった学校もある。それぞれの学校の利用状況により生理用品の補充を行っている。

問 生理の貧困に起因する問題への対応として、今実施している生理用品の無償配布が、今後そのような有効活用が可能なのか、備蓄の対応について問う。
市民部長 本市では、宇城市防災会議において地域防災計画、併せて、別途備蓄計画を策定し

ている。「重要12品目」の中に生理用品も含まれており、昼用・夜用6800枚の備蓄がある。今後も、使用期限を確認し、定期的に備蓄品の入替えを行っていく。生理用品については、毎年3分の1ずつ入れ替える。その際、市民に無償配布するなど、備蓄品の有効活用を図っていく。

問 小中学校の女子トイレへの設置も是非とも検討いただきたいと強く願う。

学校給食について

問 給食費の無償化の具体的な開始時期を問う。

教育部長 現在、継続的で恒久的な財源をどのように確保するかを関係部局と検討を重ねている段階であり、現段階で無料化の具体的な実施時期は明示できないが、保護者の負担軽減を少しでも早く実現できるよう取り組む。

問 本市の給食の米飯とパン食

の割合、また米飯、パン食の1食当たりの単価について問う。

教育部長 米飯とパン食の割合は、米飯が週4回、パン食が週1回。1食当たりの単価は、米飯が小学校で平均19・4円、中学校で24・9円。パン食は、小学校で平均44・9円、中学校で48・25円である。

問 市民の期待に一日でも早く応えられるよう、無償化の早期実施を目指して皆で知恵を出し合えたらと切に願う。



令和4年第2回臨時会の概要

《会期：令和4年5月19日》

新しい議会の構成が決まりました

議長 溝見 友一 議員

副議長 永木 誠 議員

○議会運営委員会（定数7人）

◎石川 洋一	○高橋 佳大	中山 弘幸	入江 学
園田 幸雄	村上 真由子	四海 公貴	

○総務文教常任委員会（定数8人）

◎三角 隆史	○坂元 大介	石川 洋一	中山 弘幸
入江 学	高橋 佳大	田中 美君	吉良 邦夫

○建設経済常任委員会（定数7人）

◎坂下 勲	○河野 真理	河野 正明	福田 良二
溝見 友一	原田 祐作	嘉古田 茂己	

○民生常任委員会（定数7人）

◎豊田 紀代美	○四海 公貴	園田 幸雄	高本 敬義
山森 悦嗣	永木 誠	村上 真由子	

◎印は委員長、○印は副委員長

◎審議した議案等とその結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

議員名	1 坂元 大介	2 四海 公貴	3 村上 真由子	4 河野 真理	5 吉良 邦夫	6 田中 美君	7 嘉古田 茂己	8 原田 祐作	9 永木 誠	10 山森 悦嗣	11 三角 隆史	12 坂下 勲	13 高橋 佳大	14 高本 敬義	15 溝見 友一	16 園田 幸雄	17 福田 良二	18 河野 正明	19 入江 学	20 豊田 紀代美	21 中山 弘幸	22 石川 洋一	審議 結果	賛成	反対
承認第1号 専決処分の報告及び承認を求 めることについて（専決第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	欠	○	承認	20	0
承認第2号 専決処分の報告及び承認を求 めることについて（専決第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	欠	○	承認	20	0

※議長のため表決には加わりません

◎その他の議案

番 号	件 名
報告第1号	専決処分の報告について（専決第24号） 市営住宅滞納家賃等の支払及び住宅明渡しを求める訴え提起前の和解の申立て
報告第2号	専決処分の報告について（専決第25号） 公用車事故に係る損害賠償額

議員表彰

全市市議会議長会第98回定期総会において、本市議会から3人の方が表彰されました。

【議員歴在職20年以上の特別表彰】

豊田 紀代美議員



長谷 誠一氏

(元議員)



【全市市議会議長会評議員としての会務運営に対する感謝状】

園田 幸雄議員

(元議長)



議会中継(録画)をインターネットで視聴できます

宇城市では議会中継(録画)をインターネットで配信しています。
【映像配信アドレス】<http://www.uki-city.stream.jfit.co.jp/>
ホームページのトップにあるバナーやQRコードからご覧ください。
議会のホームページからは議員名簿や会議録を見ることができます。

UKI CITY COUNCIL WEBCAST VIDEO
宇城市議会映像配信

宇城市ホームページ 宇城市議会ホームページ

文字サイズ 小 中 大

トップページ 会議名でさがす 議員名でさがす 会派名でさがす ことばでさがす

録画映像再生 PLAYING VIDEOCAST

※本会議の録画映像をご覧ください。



令和4年第2回臨時会
5月19日 本会議

- 第1 仮議席の指定
- 第2 選挙第1号 議長の選挙
- 追加議事日程(第1号の追加1)
- 第1 議席の指定
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 会期の決定
- 第4 選挙第2号 副議長の選挙
- 第5 常任委員の選任
- 第6 議会の運営委員の選任

前のページに戻る

宇城市議会録画中継
過去の市議会の様子を閲覧できます



※放映までには会議開催から数日かかります。ご了承ください。

次回の定例会は9月開会予定です

傍聴の受入れは新型コロナウイルス感染症の市中感染状況によります。
詳細は議会事務局(Tel32-2100)にお問い合わせください。

